



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月14日

上場会社名 秩父鉄道株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9012 URL <http://www.chichibu-railway.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 隆男
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 武部 一弘 TEL 048-523-3311
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	4,034	△3.6	166	△42.6	162	△40.6	118	△41.2
2018年3月期第3四半期	4,184	3.6	289	20.5	274	15.5	202	△29.0

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 60百万円 (△81.5%) 2018年3月期第3四半期 325百万円 (△30.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	79.93	—
2018年3月期第3四半期	135.94	—

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	23,096	11,026	47.7	7,411.73
2018年3月期	24,093	10,966	45.5	7,371.31

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 11,014百万円 2018年3月期 10,954百万円

(注) 当社は、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値と比較を行っております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	2.0	220	△14.1	210	△9.9	170	5.4	114.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	1,500,000株	2018年3月期	1,500,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	13,860株	2018年3月期	13,895株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	1,486,112株	2018年3月期3Q	1,486,602株

（注）当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3項「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、輸送の安全確保を最優先課題とし、安全性向上の為、鉄道事業を中心に計画的に設備の更新を行った他、異常時訓練や安全指導等を実施し従業員の意識向上に取り組み、本年度も運転無事故を継続しております。こうした実績が評価され、10月には国土交通省関東運輸局長より鉄道等の運転無事故事業者として表彰を受けました。

また、沿線地域の活性化に貢献すべく、10月20日には、永田一小前田駅間に当社の37番目の旅客駅として新たに「ふかや花園駅」を開業いたしました。

営業活動においては、各種イベントの実施や沿線市町・同業他社等と連携した誘客活動を積極的に実施し、収益の確保に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、営業収益は4,034百万円(前年同期比3.6%減)、営業利益は166百万円(同42.6%減)、経常利益は162百万円(同40.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は118百万円(同41.2%減)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりです。

[鉄道事業]

旅客部門におきましては、各種イベントの開催や季節毎の企画列車の運行など、旅客誘致に努めましたが、天候不順やS L列車の不具合による運休等の影響もあり、定期外旅客人員及び定期外旅客収入は前年同期に比べ減少いたしました。

また、定期旅客におきましては、通勤旅客は微増となりましたが、沿線就学人口の減少等により通学旅客が減少し、全体として定期旅客人員及び定期旅客収入は前年同期に比べ減少いたしました。

貨物部門におきましては、基本賃率の引上げを10月1日に実施し運賃単価は改善したものの、石灰石の輸送量が減少したことにより、貨物収入は前年同期に比べ減少いたしました。

営業費用は、電力費が料金単価の値上がりの影響により増加いたしました。その他の経費の圧縮に努め前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、営業収益は2,572百万円(前年同期比3.1%減)、営業損失は43百万円(前年同期は22百万円の営業利益)となりました。

[不動産事業]

不動産事業におきましては、賃貸物件の入居率の低下があったものの、昨年度拡充した熊谷駅南口駐車場の利用者が増加したことなどから賃貸収入は前年同期に比べ増加いたしました。また、請負工事についても、受注件数の増加により請負工事収入は前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は281百万円(前年同期比1.3%増)、営業利益は157百万円(同1.0%増)となりました。

[観光事業]

観光事業におきましては、引続き旅行者への営業活動に注力した他、各施設でイベント等を実施し集客に努めたものの、天候不順の影響で利用客が減少したため、営業収入は前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、営業収益は400百万円(前年同期比8.0%減)、営業利益は59百万円(同18.6%減)となりました。

[バス事業]

バス事業におきましては、貸切バスの稼働率が伸びず営業収入は前年同期に比べ減少いたしました。

また、営業費用は軽油価格の上昇や、車両更新による減価償却費負担増により前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は314百万円(前年同期比2.4%減)、営業利益は0百万円(同97.7%減)となりました。

[その他事業]

その他事業におきましては、4月に熊谷駅南口にリニューアルオープンしたコンビニエンスストアが堅調に推移いたしました。タクシー事業の終了による収入減等が影響し、営業収入は前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、営業収益は757百万円(前年同期比3.4%減)、営業損失は21百万円(前年同期は3百万円の営業利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ997百万円減少し23,096百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ、774百万円減少し1,616百万円、固定資産は222百万円減少し21,480百万円となりました。流動資産減少の主な要因は、現金及び預金並びにその他に含まれる補助金等の未収金がそれぞれ減少したことによるものです。固定資産減少の主な要因は、投資有価証券の減少並びに有形固定資産の減価償却によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,057百万円減少し12,069百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ984百万円減少し3,352百万円、固定負債は73百万円減少し8,717百万円となりました。流動負債減少の主な要因は、支払手形及び買掛金並びにその他に含まれる設備投資未払金がそれぞれ減少したことによるものです。固定負債減少の主な要因は、長期借入金が減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ60百万円増加し11,026百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が減少したものの、利益剰余金が増加したことによるものです。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年11月14日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,156,435	875,257
受取手形及び売掛金	300,949	421,147
分譲土地建物	111,913	107,356
商品及び製品	22,823	28,517
原材料及び貯蔵品	112,420	142,344
その他	690,534	46,501
貸倒引当金	△4,314	△4,678
流動資産合計	2,390,763	1,616,446
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,014,856	14,072,864
減価償却累計額	△9,663,978	△9,787,609
建物及び構築物（純額）	4,350,878	4,285,254
機械装置及び運搬具	5,028,177	5,032,521
減価償却累計額	△4,343,769	△4,417,104
機械装置及び運搬具（純額）	684,407	615,417
土地	15,870,839	15,870,839
その他	698,101	712,089
減価償却累計額	△606,842	△619,983
その他（純額）	91,259	92,105
有形固定資産合計	20,997,383	20,863,616
無形固定資産	39,704	28,749
投資その他の資産		
投資有価証券	622,498	550,962
繰延税金資産	15,567	9,970
その他	48,835	48,462
貸倒引当金	△21,022	△21,671
投資その他の資産合計	665,878	587,724
固定資産合計	21,702,967	21,480,090
資産合計	24,093,730	23,096,537

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	502,562	138,040
短期借入金	1,159,000	1,216,993
1年内返済予定の長期借入金	1,104,741	1,067,226
未払法人税等	8,296	20,115
未払消費税等	72,046	84,576
賞与引当金	190,051	114,009
その他	1,299,946	711,240
流動負債合計	4,336,644	3,352,203
固定負債		
長期借入金	2,246,615	2,142,879
繰延税金負債	78,112	78,932
再評価に係る繰延税金負債	4,554,262	4,554,262
退職給付に係る負債	1,643,131	1,655,757
特別修繕引当金	124,800	140,400
長期預り金	95,663	97,192
その他	48,371	48,371
固定負債合計	8,790,955	8,717,794
負債合計	13,127,599	12,069,997
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	21,916	21,952
利益剰余金	△194,351	△75,572
自己株式	△30,373	△30,326
株主資本合計	547,191	666,053
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	382,923	332,460
土地再評価差額金	9,983,917	9,983,917
退職給付に係る調整累計額	40,506	32,439
その他の包括利益累計額合計	10,407,348	10,348,817
非支配株主持分	11,591	11,669
純資産合計	10,966,131	11,026,539
負債純資産合計	24,093,730	23,096,537

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）
営業収益	4,184,795	4,034,549
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	2,906,330	2,865,381
販売費及び一般管理費	989,370	1,003,093
営業費合計	3,895,701	3,868,475
営業利益	289,094	166,073
営業外収益		
受取利息	17	8
受取配当金	9,446	12,391
土地物件貸付料	17,543	16,734
その他	3,890	6,480
営業外収益合計	30,897	35,615
営業外費用		
支払利息	29,679	25,396
減価償却費	12,285	12,285
その他	3,891	1,079
営業外費用合計	45,857	38,761
経常利益	274,134	162,927
特別利益		
固定資産売却益	3,589	1,243
補助金受入額	192	300
事業譲渡益	—	9,300
その他	1	—
特別利益合計	3,783	10,843
税金等調整前四半期純利益	277,918	173,771
法人税、住民税及び事業税	38,249	27,424
法人税等調整額	37,447	27,468
法人税等合計	75,696	54,893
四半期純利益	202,221	118,877
非支配株主に帰属する四半期純利益	128	98
親会社株主に帰属する四半期純利益	202,092	118,778

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）
四半期純利益	202,221	118,877
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	117,396	△50,484
退職給付に係る調整額	5,650	△8,067
その他の包括利益合計	123,046	△58,552
四半期包括利益	325,267	60,325
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	325,086	60,247
非支配株主に係る四半期包括利益	180	77

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2017年4月1日至2017年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	2,648,761	272,945	433,881	321,674	3,677,263	507,532	4,184,795	—	4,184,795
セグメン ト間の内 部営業収 益又は振 替高	7,203	5,248	1,318	371	14,141	276,219	290,360	△290,360	—
計	2,655,965	278,193	435,199	322,046	3,691,404	783,751	4,475,156	△290,360	4,184,795
セグメント 利益	22,417	155,802	72,643	23,235	274,098	3,516	277,615	11,478	289,094

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、タクシー事業、卸売・小売業、建設・電気工業及び旅行業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額11,478千円には、固定資産未実現損益の消去額1,135千円、セグメント間取引消去10,343千円が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2018年4月1日 至2018年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	2,565,774	276,316	399,747	313,930	3,555,769	478,780	4,034,549	—	4,034,549
セグメン ト間の内部 営業収益 又は振 替高	6,799	5,418	853	467	13,537	278,338	291,876	△291,876	—
計	2,572,574	281,734	400,600	314,397	3,569,307	757,118	4,326,425	△291,876	4,034,549
セグメント 利益又は損 失 (△)	△43,784	157,407	59,147	528	173,298	△21,774	151,523	14,550	166,073

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、タクシー事業、卸売・小売業、建設・電気工業及び旅行業等を含んでおります。なお、本年度9月30日をもって、秩鉄タクシー株式会社は、事業譲渡によりタクシー事業を終了いたしました。
2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額14,550千円には、固定資産未実現損益の消去額1,426千円、セグメント間取引消去13,124千円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 補足情報

(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入

			当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間	増減率 (%)
旅客人員	定期	千人	3,948	3,990	△1.1
	定期外	〃	2,240	2,272	△1.4
	計	〃	6,188	6,262	△1.2
貨物トン数		千トン	1,473	1,520	△3.1
旅客収入	定期	百万円	552	557	△1.0
	定期外	〃	919	955	△3.8
	計	〃	1,471	1,513	△2.8
貨物収入		〃	929	942	△1.4